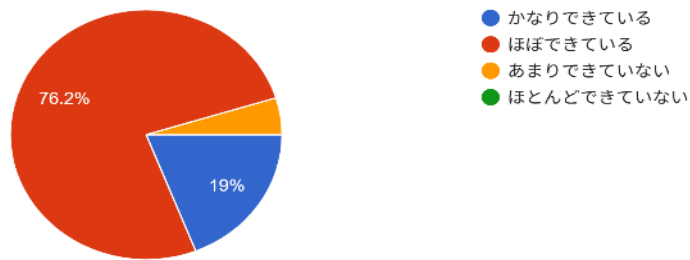


1 【保育の理念・保育目標】

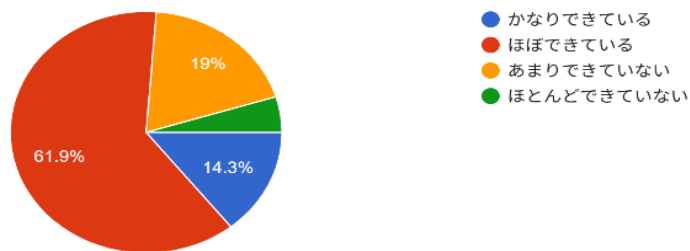
1. 常に子どもの最善の利益を考慮して保育に当たっている

21件の回答



2. 『保育園が目指す子どもの姿』を実現できるような保育計画を立て職員が共有している

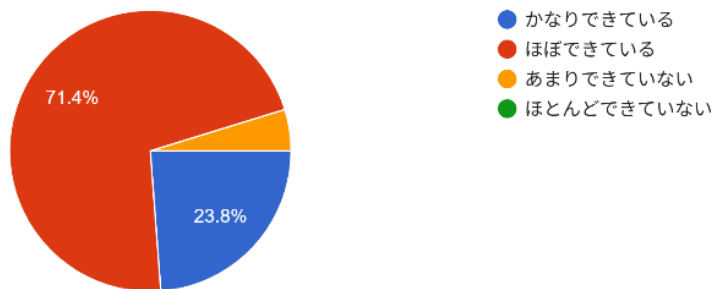
21件の回答



2 【保育内容】

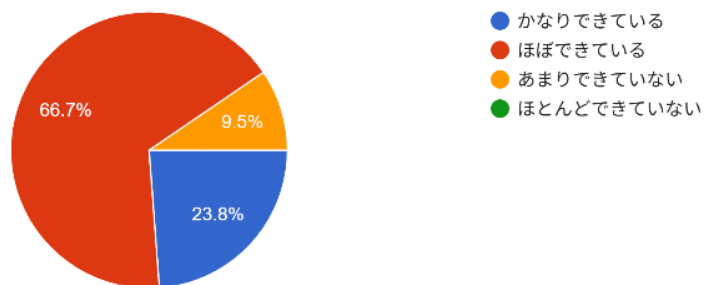
1. 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育をしている

21件の回答

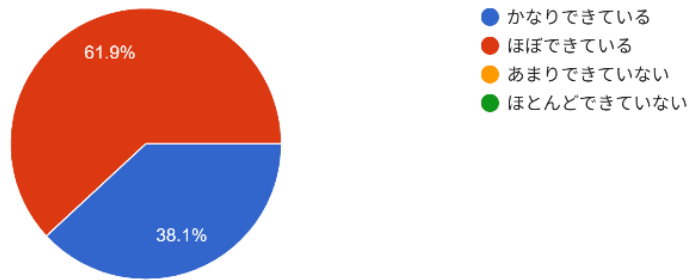


2. 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している

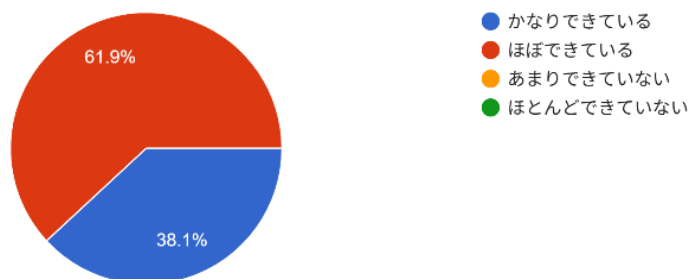
21件の回答



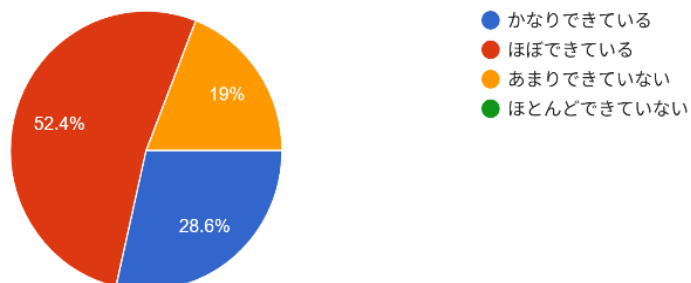
3.子どもが基本的な生活習慣を身につけることができるよう、援助を行っている
21件の回答



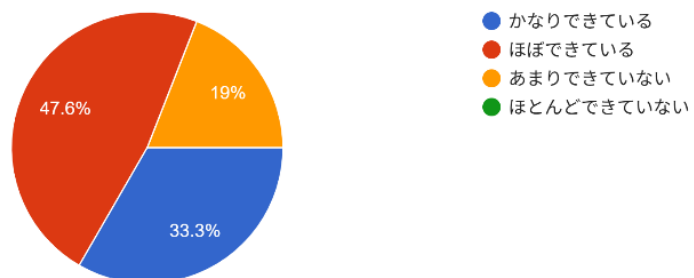
4.子どもと信頼関係を築き、子どもの自己肯定感を育てている
21件の回答



5.配慮が必要な子どもの状況に応じた環境整備し、保育内容や方法を考慮している
21件の回答



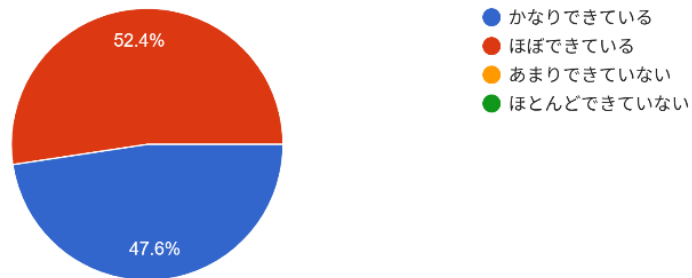
6.就学を見通した保育の内容や方法、保護者の関わりに配慮している
21件の回答



3 【健康管理・食事・保護者支援】

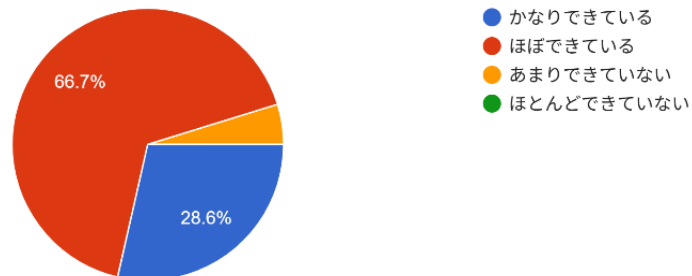
1. 子どもの健康管理を適切に行っている

21 件の回答



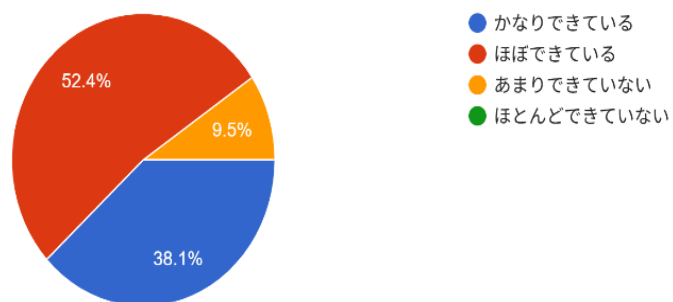
2. 子どもが楽しく、落ち着いて食事がとれる環境・雰囲気づくりを工夫している

21 件の回答



3. 日々のコミュニケーションより、保護者との信頼関係を築くよう取り組んでいる

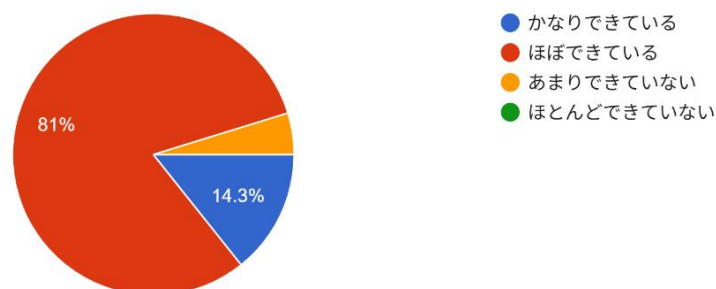
21 件の回答



4 【職員の資質向上と責務】

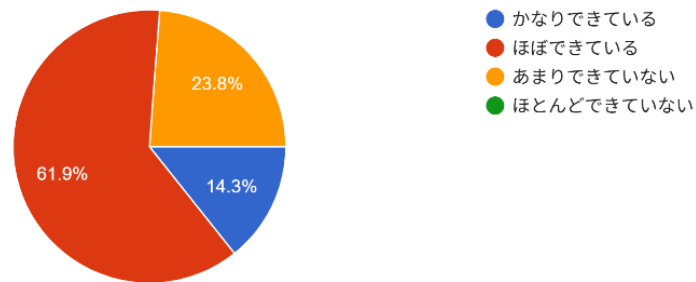
1. 保育士は子どもに...もにとってモデルになっていることを意識している

21 件の回答



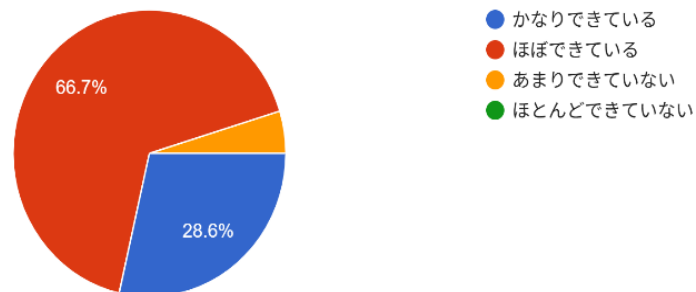
2.園内外の研修及び自己研鑽により専門性を高める努力をしている

21件の回答



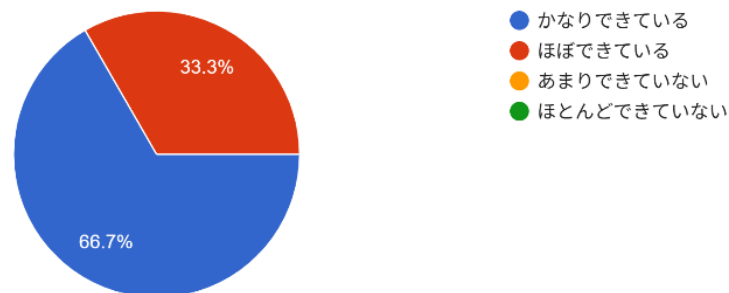
3.報告、連絡、相談を正確・迅速に行っている

21件の回答



4.子どもの情報を適切に扱うと共に、園内で知りえた事柄や情報に対して守秘義務を守っている

21件の回答



【課題・改善策】

- ・個別支援が必要な園児に対し、専門機関との連携、環境を整えていく
- ・保護者との信頼関係構築に務め、保護者視点からのコミュニケーション力を高める
- ・職員の自己研鑽の場を広げる

分析と今後の取り組み

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように務めなければならない。」ことが明記されています。

このことに基づき、臨時職員、看護師、栄養士等含めた保育に関わる全ての職員を対象に自己評価を実施。

評価の結果は、昨年度より、かなりできているより、ほぼできているが増えているが、これは自己評価が形骸的にならないよう自己啓発のためのものであることを再度確認したため、真摯に回答した結果だと思われる。今後も自己研鑽に努め、また、保護者との信頼を深め、子ども一人一人の育ちに沿った保育を進めていきます。

【保育理念・保育目標】

法人理念・保育理念・目指す子どもの姿の共有するため、会議・文書で確認していきます。

法人理念：共に育み 共に創り 共に生きる 共には一人一人に寄り添うこと

目指す子ども：誰とでも仲良く遊べ、思いやりのある子（思いやり）

夢中で遊べ、最後まで頑張れる子（集中力・頑張り）

自分からなんでもやろうとする子（自主性・創造力）

すべて非認知能力です。これらを育てる土台は、自分のことが好きと思え、自分が大切にされているという自己肯定感です。

自己肯定感を育み、少しのことでは折れない、しなやかで強い子どもを育てていきます。

【保育内容】

子どもの自己肯定感を育てる保育の取り組みはできている。配慮の必要な子どもたちが増えており、その対応に苦慮している。専門機関との連携をさらに密にしていき、保護者とともに子どもにとって一番いい方法を考えていきます。

保・小連携 かけはしプログラムを職員全体で把握し、子どもの姿は到達目標ではないことを理解したうえで保育をおこないます。

令和8年度は、体幹を整えるため運動遊びに加え、聞くことが減った童謡・わらべ歌等の伝承を実施します。

【健康管理・食事・保護者支援】

栄養士による食育、看護師による保健指導により、子どもの食・健康に関する興味が高まっています。保護者とのコミュニケーションは、送迎を各クラスにしたことで以前より改善できています。今年度初めて保護者アンケートを実施し、結果・ご意見への回答については、保護者連絡システムで公表します。

【職員の資質向上と責務】

今年度も自己評価の中で、ほとんどできていない割合が一番高いのが自己研鑽であり、特に臨時職員の研修の機会がとれなかったため、令和8年度は、短時間の研修をiPadで実施し、どの職員も視聴可能な取り組みを行い、研修の機会を増やしていきます。

守秘義務については、次年度は誓約書を取り、さらに個人情報管理を徹底していきます。